

研究

9月17日(木)NO. 4

文責 道徳教育推進教師

2学期がスタートしました。例年になく夏が長く、運動会の練習がハードに感じる今日この頃です(笑)。各教科はもちろんですが道徳の学習は順調に進んでいますか？運動会の練習の仕方や掃除の取り組み方・生活目標の挨拶の仕方など日常生活の中には、道徳と関連づけて指導すると効果の上がりそうなものがたくさんあります。児童に学習で学んだことが、どう関連しているかを気付かせながらより価値を自覚させていきたいものです。

さて、今回は、9月8日にあった授業研究で学んだことについてまとめたものを紹介します。鈴木先生から初めての指導を受けたのですが、目から鱗のことがたくさんあった実り多い研修でした。

校内研修での学び

【第3回校内研修】 指導講話:鈴木由美子先生

★価値項目4-(8)国際理解と親善 の扱いについて

国際理解=自分理解(open mind)である。

世界を知ること、自分たちの良さを気付かせてやる。

良さを知らずして、自己肯定感が生まれてくる。

世界の人々が平和に暮らすために自分たちには何が出来るか…？

ユニセフ・NPO の働きを知ることも大切。また、自分たちが出来る小さいが大切なこと(友達同士が仲良くする・空き缶を拾う)を考えさせることも大切。

マザー・テレサの行動も「目の前の人を助ける」ことが原点で始まった。

★道徳の授業において大切なこと

なぜその人がそのような行動を起こしたかを考えること。



** チェックしてみてください **

- ① 道徳のあしあとは毎回掲示している。
- ② 道徳コーナーは、月に1回以上は掲示を変えている。
- ③

日々の道徳の授業が、子どもたちの心に少しでも届いて私たち自身も子どもたちもよりよく変わっていくことを願って…。